

「スマート農業推進フォーラム 2024 in 東北」開催要領
～ スマート農業技術の実装による「みどりの戦略」の実現に向けて～

1 開催目的

食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立が強く求められる中、農林水産省では、令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」に加え、令和6年10月に「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」（以下「スマート農業技術活用促進法」という。）を施行し、イノベーション等による持続的生産体制の構築の取組として、スマート農業技術や環境負荷低減技術の導入を推進している。

このような中、これらの技術の社会実装を一層促進するため、スマート農業技術実証プロジェクトで得られた成果や「スマート農業技術活用促進法」の取組事例の紹介、「みどりの食料システム戦略」技術カタログに掲載された技術の取組状況等について、農業者をはじめとした多くの関係者へ広く情報発信するとともに、当該技術の社会実装に向けた課題等について意見交換を行うため、本フォーラムを開催する。

2 開催日時

令和6年12月18日（水）13:00～17:00

（受付及び企業による技術展示、認定申請相談窓口は12:00～18:00）

3 開催場所

仙台合同庁舎 A棟 8階講堂（仙台市青葉区本町3-3-1）

4 共催

農林水産省、東北農政局、農研機構東北農業研究センター

5 協力

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

6 内容

（1）農林水産省及び農研機構からの話題提供等（13:00～13:45）

①「スマート農業技術活用促進法」について

農林水産省大臣官房政策課技術政策室 本間 佳祐

②農研機構スマート農業施設供用推進プロジェクトの紹介

農研機構本部スマート農業施設供用推進プロジェクト室
ビジネスコーディネーター 深澤 亨

（2）スマート農業技術の研究成果及び取組事例等（13:45～15:05）

①「スマート農業実証プロジェクト」令和5年度採択コンソーシアムによる事例紹介
秋田県産タマネギの生産性改善による自給率向上モデル実証

農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域
野菜新作型グループ長 室 崇人

②生産方式革新事業活動の取組事例紹介

(株) おしの農場 押野 日菜子
(株) 山正 瀬野 雄平

③東北各県におけるスマート農業技術の開発・実装に向けた取組紹介

各県担当者

－ 休 憩 (20 分) －

(3) みどり技術ネットワーク会議 (15:25～17:00)

① みどりの食料システム戦略の実現に向けた東北農政局の取組紹介

(15:25～15:35)

東北農政局生産部環境・技術課 中谷 文樹

② 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ掲載技術等の導入事例紹介

(ドローン生育診断、自動水管理システム活用＋流し込み追肥)

(15:35～15:55)

岩手県盛岡農業改良普及センター 臼井 智彦

③ パネルディスカッション (16:00～17:00)

コーディネーター： 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 齋藤 雅典

パネリスト： 農研機構東北農業研究センター

みどり戦略・スマート農業コーディネーター 嶺野 英子

岩手県盛岡農業改良普及センター 臼井 智彦

(株) おしの農場 押野 日菜子

(株) 山正 瀬野 雄平

東北農政局生産部環境・技術課 中谷 文樹

(4) 企業による技術展示、認定申請相談窓口 (12:00～18:00)

7 参集範囲

スマート農業に関心のある者

(農業者、農業者団体、民間企業、県・市町村、公設試験研究機関、報道機関 等)

8 定員

100名

9 参加申込方法

WEBによる事前登録制

10 連絡先

東北農政局生産部環境・技術課

TEL:022-221-6193